

# COLUMBUS 21

ENGLISH COURSE

平成 21 - 23 年度

## 移行措置資料

光村図書

## はじめに

平成20年3月、新しい中学校学習指導要領が告示されました。新学習指導要領は平成24年度より完全実施となりますが、平成21年度から平成23年度までが移行期間となり、中学校の外国語科においても「…指導に当たっては…その全部又は一部について新中学校学習指導要領第2章第9節の規定によることができる」(中学校学習指導要領・移行措置関係規定)とされています。

外国語科の場合、移行期間にどの程度新学習指導要領に沿って授業を行うかは各学校の裁量に委ねられるわけですが、平成21年度より新学習指導要領に移行する学校も多いものと思われます。

そこで、小社ではこのたび現行の平成18年度版 COLUMBUS 21 ENGLISH COURSE をお使いいただきながら新学習指導要領をふまえた授業が展開できるように、本資料を作成いたしました。移行期間の年間指導計画をお作りいただく際の参考にしていただければ幸いです。

## 本資料の構成と内容

本資料は次のような構成になっています。

- I 新学習指導要領の特徴と移行措置
- II 中学校学習指導要領(外国語)新旧対照表
- III 小学校新学習指導要領(外国語活動)
- IV 年間指導計画

### I 新学習指導要領の特徴と移行措置

新学習指導要領の基本的な考え方と新学習指導要領(外国語)の特徴を解説するとともに、現行教科書に即してどのような移行措置のための資料や教材を用意したかを解説しています。

### II 中学校学習指導要領(外国語)新旧対照表

新旧の学習指導要領を対照させて、追加された文言、変更された文言、削除された文言をわかりやすく色分けして示しています。

### III 小学校新学習指導要領(外国語活動)

小学校で新しく外国語活動の学習指導要領が示されました。その全文を掲載しています。

### IV 年間指導計画

新学習指導要領に即した年間指導計画の案を学年ごとに示しています。

左ページに「月」「時数」「単元・教材」「主な言語材料など」「到達目標」を示していますが、「時数」の赤字が新学習指導要領に即した新しい時数、[ ]が現行の時数です。

右ページに「移行措置」と「追加する単語」を示しています。「移行措置」の欄はその単元・教材で配慮する事項を述べ、【Read More Corner】【Practice Corner】のように移行措置のための教材が掲載されている光村図書のホームページのコーナー名を示しました。また「追加する単語」の欄はその単元・教材で追加して学習する新出単語を示しました。

なお、【Read More Corner】などのコーナーで示した移行措置用の教材は、本年中に光村図書のホームページ「教科の部屋・中学校英語」に掲載いたします。ダウンロードして自由にお使いください。

# I 新学習指導要領の特徴と移行措置

## 1 新学習指導要領の基本的な考え方

現行の学習指導要領の理念は「生きる力」ですが、新学習指導要領もこの理念をふまえたものになっています。文部科学省はこの点について、

——これからの「知識基盤社会」において求められる変化に対応する能力は、「課題を見いだし解決する力」「知識・技能の更新のための生涯にわたる学習」「他者や社会、自然や環境と共に生きること」などであり、このような時代を担う子どもたちに必要な力こそ「生きる力」である。——

と説明しています。

一方、「生きる力」の育成を実現するためのこれまでの手立てについて、「各教科での知識・技能の習得と総合的な学習の時間での課題解決的な学習や探究活動との間の段階的なつながりが乏しくなっている。」「各教科において、知識・技能の習得とともにそれを活用する学習活動を行うためには、現在の授業時数では十分ではない。」などの課題があるとしています。

以上のことから、今回の学習指導要領の改訂は、「生きる力」の育成を基本理念といたうえで、知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等のバランスに配慮して行われました。「習得・活用・探求」という過程が重視されています。具体的な教育内容の改善事項は以下のとおりです。

言語活動の充実	言語は知的活動やコミュニケーション、感性・情緒の基盤。
理数教育の充実	科学技術の土台である理数教育の指導内容の充実。
伝統や文化に関する教育の充実	各教科で伝統・文化の継承・発展のための教育を充実。
道徳教育の充実	道徳教育は学校の教育活動全体を通じて行う。
体験活動の充実	職場体験活動などで子どもたちの社会性や人間性を育む。
外国語教育の充実	小学校高学年に外国語活動を導入。

## 2 新学習指導要領（外国語）の特徴

### ① 小学校の外国語活動

新学習指導要領では「外国語活動」が小学校5・6年生で週1時間必修となりました。小学校の「外国語活動」の目標は次のとおりです。

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

中学校で「コミュニケーション能力の基礎」を養う前に小学校で「コミュニケーション能力の素地」を養う、という考え方です。外国語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを体験することでコミュニケーション能力の素地を養うことが小学校で行われるわけですから、中学校で考えなければならないのは、「英語はコミュニケーションのために使うもの」という感覚をもった子どもたちの思いを大切にしながら、どのようにコミュニケーション能力を伸ばしていくかということでしょう。

また、小学校で「音声や基本的な表現に慣れ親しませ」るので、中学校では慣れ親しんだ音声を文字に結び付けることが必要になります。そこで中学校の学習指導要領に「発音と綴りとを関連付けて指導すること。」という指導事項が新しく加わっています。

## ② 時間数の増加

中学校の外国語科の授業時数が各学年とも年間35時間増え、週3時間から週4時間になりました。全教科の中で最も多い授業時数です。これも「外国語教育の充実」という新学習指導要領の基本的な考え方の反映です。

この時間数の増加は、次のような指導内容の増加に対応しています。

「聞く」「話す」「読む」「書く」の各技能に新しい指導事項が加わった。  
繰り返し学習による定着と習熟が求められている。  
学習する語彙数が900語から1,200語に増えるなど、言語材料が増加した。

## ③ 各技能の指導事項

現行の学習指導要領の目標で「聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う」となっていた部分が、新学習指導要領では「聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う」となっています。これまでは「聞く」「話す」という音声言語中心の指導であったのが、「読む」「書く」という文字言語も音声言語と同様の比重で扱うこととなります。4技能をバランスよく指導することが求められているわけです。

なお、新学習指導要領では「実践的」という言葉が外れましたが、これは「コミュニケーションとは実践的なものでしかありえない」という認識からあえて「実践的」と強調しなかっただけで、コミュニケーション重視という新しい英語教育への動きが後退したと考えるべきではないでしょう。

新学習指導要領の「言語活動」の指導事項を見ると、4技能のそれぞれについて従来は4つずつあった事項が1ないし2項目増えています。新しい指導事項は次のとおりです。

聞くこと	● まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること
話すこと	● 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること
読むこと	● 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること
書くこと	● 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと ● 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと

新しい指導事項では「まとまり」「つながり」という言葉がキーワードであることがわかります。要はまとまりやつながりのある英語を聞いたり、話したり、読んだり、書いたりすることが求められているわけです。

「書くこと」では一つの文を正しく書くことも新しい指導事項になっています。この事項では特に「語と語のつながり」という文言で語順の重要性が強調されています。

「読むこと」の「感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう」という部分は、「読むこと」を「話すこと」や「書くこと」に結び付けることを示唆しています。このように4技能を関連させて展開する言語活動が今後求められることとなります。

---

#### ④ 繰り返しによる定着と習熟

---

新学習指導要領の「学習段階を考慮した指導上の配慮事項」に

第2(3)学年における言語活動 \* ( ) は第3学年についての記述  
第1学年の(第2学年までの)学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを更に(一層)広げた言語活動を行なわせること。その際、第1学年(第1学年及び第2学年)における学習内容を繰り返して指導し定着を図る…

とあり、学習内容を定着させるためにいわゆる「スパイラルな指導」が求められています。  
また「言語材料の取扱い」でも

英語の特質を理解させるために、関連のある文法事項はまとまりをもって整理するなど、効果的な指導ができるよう工夫すること

とありますが、これも学習した内容を整理して定着させるという意味で「スパイラル」の発想でしょう。

「言語材料の取扱い」の記述でもうひとつ注目したいのは次の事項です。

文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導すること

これまで文法学習と言語活動を切り離して考える傾向がないとは言えませんでした。その点を見直し、**文法学習と言語活動は一体のもの**として指導することが求められています。この点は、「習得」から「活用」へ、また「活用」を通して「習得」へ、という学習指導要領の基本的な考え方の反映と言えます。

---

#### ⑤ 言語材料の増加

---

言語材料の増加は次のとおりです。

語彙数が「900語程度まで」から「1,200語程度」に増える  
いくつかの文法事項で「理解の段階にとどめる」という規制がなくなる  
いくつかの文法事項で「基本的なもの」などの文言が削除される

語彙数が増えたことが最大のポイントです。語彙をもっと多く身につけることで、より豊かなコミュニケーションを行えるようにすることをねらっています。覚えるだけでなく活用できるようにしなければなりません。小学校の外国語活動を通して、音声として身につけている語彙もある程度想定できることから、300語の増加ということになりました。

文法事項で新しく盛り込まれたものではありませんが、関係代名詞などいくつかの文法事項について「理解の段階にとどめる」という現行の記述がなくなり、関係代名詞を使って話したり書いたりする言語活動なども、発展的学習という位置づけではなく中学校で行うことになりました。

また、不定詞など「基本的なもの」とされていたものからその文言が削除されましたが、実質的な変更はありません。ただし、受け身については「現在形及び過去形」という文言が削除され、A new gym will be built here. のような未来を表す助動詞を伴った受け身の文も指導することになりました。

新学習指導要領の改訂のポイントに応じた移行措置のための教材について以下に説明いたします。

### ① 小学校からの接続への対応

#### [Phonics Corner]

発音と綴りの関係を学習する教材を収めたコーナー。小学校の外国語活動を通して慣れ親しんだ英語の音声を文字に結び付けることができるようにして、ある程度独力で英語が読めるようにします。

### ② 各技能の新しい指導事項への対応

#### [Listen More Corner]

「聞くこと」の新指導事項に対応して「まとまりのある英語」を聞き取る教材を収録。音声スクリプト、リスニングのタスクとともに音声もダウンロードできるようにしています。

#### [Phonics Corner]

教材	時期 (1年)
1 子音の読み方	入門期
2 母音の読み方	
3 読めるかな?	
4 長い母音と短い母音	Unit 5

#### [Listen More Corner]

学年	教材	時期
1	今、何をしているの?	Unit 7
	バザーの広告	Unit 8
	何ができるかな?	Unit 9
	週末にしたこと	Unit 10
2	ラジオ番組	Unit 1
	いろいろなアナウンス	Unit 2
	公園の案内	Unit 3
	ボイスレター	Unit 7
	バレンタインデー	Unit 8
3	スピーチ・英語について	Unit 1
	日本の印象	Unit 2
	スピーチ・わたしの経験	Unit 4
	将来の夢は?	Unit 5

#### Challenge!

学年	教材	時期
1	Challenge! 1 自己紹介をしよう	2学期
	Challenge! 2 What Am I?	
	Challenge! 3 Show and Tell	3学期
2	Challenge! 1 Talk about Yourself	1学期
	Challenge! 2 My Best Shot	2学期
	Challenge! 3 Our Opinions	
	Challenge! 4 My Favorite Book	3学期
3	Challenge! 1 You Are a Negotiator	1学期
	Challenge! 2 Let's Make a Presentation	
	Challenge! 3 Let's Have a Debate	2学期
	Challenge! 4 My Report	3学期

## Challenge!

「話すこと」では「簡単なスピーチをすること」が新しい指導事項になっていますが、これについては教科書の各学年巻末にある Challenge! を活用してください。Challenge! では、「自己紹介」「自分が大切にしているもの (Show and Tell)」「夏休みの経験」「読書紹介」「将来の希望について (Presentation)」など、学年段階に即してさまざまなテーマと形式でスピーチができるようになっています。

Challenge! には、ほかにも「話すこと」としてディベートなどの話し合いの活動、「書くこと」として中学校生活の思い出をエッセイに書く活動もあります。年間指導計画ではそれらにも時間を配当しています。

## 【Read More Corner】

「読むこと」と「書くこと」が新学習指導要領で重視されています。「読むこと」については教科書の内容と関連した読み物教材を Read More Corner に収録しています。このコーナーは今も光村図書のホームページの「教科の部屋・中学校英語」にあります。さらに教材数が増えることになります。

また、教科書で選択教材になっている Special Program にも “Water from Fog” (2年) や “The Home Planet” (3年) などの読み物教材がありますので、これらも移行期間の教材として活用してください。

なお、これらの読み物教材で提出されている単語のうち基本的なものは、新学習指導要領に移行する際の「プラス300語」の部分としてご指導いただくことを想定しています。


## 【Read More Corner】

学年	教材	時期
1	A Dream Player	Unit 6
	A Card from Australia	Unit 11
	Valentine's Day in Japan and in America	Unit 12
2	Min-soo's Life in Korea	Unit 1
	Welcome to L.A.!	Unit 3
	Mother's Birthday	Unit 4
	Do You Know about Ichiro?	Unit 5
	Autumn Leaf Festival	Let's Read
	Diwali	
	What is Halloween?	Unit 6
	You Are not Alone	Unit 7
Vending Machines	Challenge! 3	
3	The School in the Mountains	Unit 2
	My Father Is My Teacher	
	Different Place, Different Manner	Unit 3
	A True Sporting Spirit	Let's Read
	The Tsukuba Express	Unit 4
	Christmas — America's Favorite Holiday	Unit 6

## 1年 Unit 6 Read More Corner “A Dream Player” より

A Dream Player

Do you know this basketball player?  
His name is Sugiyama Ken.  
He's Japanese and he's 23 years old.  
He's not tall, only 170cm, but he runs very fast and jumps very high!  
Now he plays in the NBA.  
In Japan, he is a star basketball player, but in America, he's not very famous.  
He trains very hard every day. He really loves basketball!



**Reading Task**  
杉山選手についてわかったことを表にまとめましょう。

a. 年齢	
b. スポーツ	
c. 出身国	
d. 現在プレーしている国	

jump 跳ぶ famous 有名な

## [Practice Corner]

「書くこと」の「正しく文を書くこと」という新指導事項に対応したコーナー。1年から3年までのすべてのUnitに即した教材を作成しました。短い語句を口頭で言う段階からスモールステップを踏んで練習できるように配慮し、だれでも正しく文を書くことができるまで導きます。「語と語のつながり」が自然と理解できるようになります。

## [Write More Corner]

「書くこと」のもうひとつの新指導事項である「文と文のつながりなどに注意して」まとまった英文を書く力を高める教材を系統立てて収録しています。学年段階に応じて表現意欲をもてるテーマを設定。マッピングの手法で情報を整理しながら、組み立てを考えてまとまりのある文章を書くことを学びます。

### ④ 繰り返し学習への対応

## [Spiral Corner]

前学年までに学習した内容を繰り返して使う、いわゆる「スパイラルな学習」のための教材を作成しました。「修飾語句の語順」「動詞の時制」「不定詞」などの文法事項や、「買い物」などの言語の使用場面について復習できます。

### 3年 Unit 3 Practice Corner より

**Grammar for Writing** Unit 3 Jenny's Experience on a Farm (1)  
◎ 「～したところでず～してしまいました(してあげた)」という言い方

**HOPE**

1 「～したところでず～してしまいました(してあげた)」を何度も言おう。  
2 just(ちょうど)や already(すでに、もう)で何度も言おう。

(1) have read the book 本を読んだところです  
(2) has finished 終えています  
(3) has had dinner 夕食を食べてしまいました

(1) have just read the book ちょうど本を読んだところです  
(2) has already finished もう終えています  
(3) has already had dinner もう夕食を食べてしまいました


2 2の英語に空欄をつけて何度も言おう。

(1) I have just read the book. 私はちょうど本を読んだところです。  
「私は(何分前)本を読んだところ(その本を)。」  
(2) She's already finished. 彼女はもう終えています。  
「彼女は(何分前)終えています。」  
(3) Hiro has already had dinner. ヒロはもう夕食を食べてしまいました。  
「ヒロは(何分前)食べて(夕食を)。」

**STEP** 「～したところでず～してしまいました」という英文を完成させよう。

(1) I \_\_\_\_\_ . 私は終えたところです。  
(2) I've \_\_\_\_\_ him an e-mail. 私はすでに彼にメールを送っています。  
(3) Kenji \_\_\_\_\_ home. 健二はちょうど家に帰ってきたところです。

**JUMP** 英文を書いてみよう。(3)は絵の内容を伝える英文を作ってみよう。

(1) ぼくはちょうど起きたところです。 [絵: ぼくはちょうど起きたところ]。  
(just / I've / got up).  
(2) エミはすでにぼくに電話番号を教えてくれました。 [絵: エミはすでにぼくに電話番号を教えた]。  
(Emi / me / told / already / has) her phone number. (彼女の電話番号を)  
(3)  Maki \_\_\_\_\_ just \_\_\_\_\_ dinner.

(have+過去分詞)の形が「～したところで」と動作の完了を後述することもあるよ。  
その場合 just や already がくっつくことがよくあるわ。

### [Write More Corner]

学年	教材	時期
1	メールを書こう	Unit 4
	わたしの Hero/Heroine 新聞	Challenge! 2
	わたしの『中学1年』	Challenge! 3
2	夢の夏休みを語る手紙を書こう	Unit 2
	わたしの将来	Unit 5
	わたしの『中学2年』	Language Focus 5
3	修学旅行レポート	Let's Read
	日本文化紹介	Unit 4
	英文自己PRカード	Unit 5
	意見文	Challenge! 3
	中学卒業後のわたし	Challenge! 4

### [Spiral Corner]

学年	教材	時期
2	Who Am I?	Unit 1
	きみはツアープランナー	Unit 3
	誘うのが上手?	Unit 6
	Another Shopping	Skit Time
3	不定詞百人一首	Unit 3
	人探しレース	Language Focus 1
	街に出かけよう	Skit Time
	海賊スゴロク	Language Focus 3

#### ④ 言語材料の増加への対応

### [Vocabulary Worksheet]

コミュニケーションのための豊かな語彙が身に付けられるように、教科書の Communication Task (年間指導計画では CTと表記) の言語活動と関連させて、「体の部分を表す言葉」(1年 Unit 5), 「天気を表す言葉」(2年 Unit 2) など、カテゴリーで語彙が習得できるような教材を作成しました。

新学習指導要領では単語数が現行よりも300語程度増えますが、本資料ではその増加分について、Challenge! や Special Program のような教科書の選択教材や Read More Corner の読み物教材で指導したり、Vocabulary Worksheetなどで教科書の言語活動と関連させて指導したりすることを提案しています。各単元・教材でどの単語を追加して指導するかは、年間指導計画の「追加する単語」を参照してください。

### [Activity]

「理解の段階にとどめる」という規制がなくなった文法事項について表現活動を行うにあたっては、教科書3年 p.48の「発展」(間接疑問文を使う表現活動), 同じく p.49の「発展」(S + V + O + how (など)to ~を使う表現活動)を活用するとともに、Activity のコーナーにある関係代名詞を使う表現活動の教材を活用してください。

### 3年 Language Focus 1 Spiral Corner より

## インタビュー・シート

インタビューをして次のNo. 1~No. 5の人をたくさん見つけよう。

No. 1 (例) 私は毎週日曜日にテレビで「サザエさん」を見ます。 <日常の習慣>  
 No. 2 (例) 私は放課後、塾で英語を勉強する予定です。 <先のことや予定>  
 No. 3 (例) 私は今朝、納豆を食べました。 <過去の出来事>  
 No. 4 (例) 私は沖縄に行ったことがあります。 <自分の経験>  
 No. 5 (例) 私は5年間ずっとポケモンファンです。 <継続している事柄>

Secret Points [A]	No.	Memo	人数 [B]	得点 [A]×[B]
1	1			
2	2			
3	3			
4	4			
5	5			

**Total Points!!**

### [Vocabulary Worksheet]

学年	教材	時期
1	体の部分を表す言葉	Unit 5
	商品のカタログ(衣服・色)	Unit 8
2	天気を表す言葉	Unit 2
	町を案内しよう(施設)	Unit 4
	いろいろな形容詞	Unit 6
	いろいろな動詞	Unit 9
3	家族関係を表す言葉	Unit 1
	こんな経験したことある?	Unit 2

## Ⅱ 中学校学習指導要領(外国語)新旧対照表

新	
第1 目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。
第2 各言語の 目標及び 内容等	<p style="text-align: center;">1 目標</p> <p>(1) 初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。  (2) 初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。  (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。  (4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">2 内容</p> <p><b>(1) 言語活動</b></p> <p>英語を理解し、英語で表現できる実践的な運用能力を養うため、次の言語活動を3学年間を通して行わせる。</p> <p><b>ア 聞くこと</b>  主として次の事項について指導する。  (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。  (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。  (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。  (エ) 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解すること。  (オ) まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。</p> <p><b>イ 話すこと</b>  主として次の事項について指導する。  (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。  (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。  (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりなどすること。  (エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。  (オ) 与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。</p> <p><b>ウ 読むこと</b>  主として次の事項について指導する。  (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。  (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。  (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。  (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。  (オ) 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること。</p> <p><b>エ 書くこと</b>  主として次の事項について指導する。  (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くこと。  (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。  (ウ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすること。  (エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。  (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p> <p><b>(2) 言語活動の取扱い</b></p> <p><b>ア 3学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</b>  (ア) 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動を行うとともに、(3) に示す言語材料について理解したり練習したりする活動を行うようにすること。  (イ) 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うなどの活動においては、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにすること。  (ウ) 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにすること。</p>

旧	
第1 目標	<p>外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養う。</p>
第2 各言語の目標及び内容等	<p style="text-align: center;">1 目標</p> <p>(1) 英語を聞くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。                  (2) 英語で話すことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。                  (3) 英語を読むことに慣れ親しみ、初歩的な英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。                  (4) 英語で書くことに慣れ親しみ、初歩的な英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。</p> <p style="text-align: center;">2 内容</p> <p><b>(1) 言語活動</b></p> <p>英語を理解し、英語で表現する能力を養うため、次の言語活動を3学年間を通して行わせる。</p> <p><b>ア 聞くこと</b>                  主として次の事項について指導する。                  (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく聞き取ること。                  (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、具体的な内容や大切な部分を聞き取ること。                  (ウ) 質問や依頼などを聞いて適切に応じること。                  (エ) 話し手に聞き返すなどして内容を正しく理解すること。</p> <p><b>イ 話すこと</b>                  主として次の事項について指導する。                  (ア) 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴に慣れ、正しく発音すること。                  (イ) 自分の考えや気持ちなどが聞き手に正しく伝わるように話すこと。                  (ウ) 聞いたり読んだりしたことについて、問答したり意見を述べ合ったりすること。                  (エ) つなぎ言葉を用いるなどいろいろな工夫をして話が続くように話すこと。</p> <p><b>ウ 読むこと</b>                  主として次の事項について指導する。                  (ア) 文字や符号を識別し、正しく読むこと。                  (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。                  (ウ) 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。                  (エ) 伝言や手紙などから書き手の意向を理解し、適切に応じること。</p> <p><b>エ 書くこと</b>                  主として次の事項について指導する。                  (ア) 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意をして正しく書くこと。                  (イ) 聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想や意見などを書いたりすること。                  (ウ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くこと。                  (エ) 伝言や手紙などで読み手に自分の意向が正しく伝わるように書くこと。</p> <p><b>(2) 言語活動の取扱い</b></p> <p><b>ア 3学年間を通じた全体的な配慮事項</b>                  3学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。                  (ア) 実際に言語を使用して互いの気持ちや考えを伝え合うなどのコミュニケーションを図る活動を行うとともに、(3) に示す言語材料について理解したり練習したりする活動を行うようにすること。                  (イ) コミュニケーションを図る活動においては、具体的な場面や状況に合った適切な表現を自ら考えて言語活動ができるようにすること。                  (ウ) 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げるようにすること。</p>

## 言語の使用場面の例

## a 特有の表現がよく使われる場面

- あいさつ ●自己紹介 ●電話での応答
- 買い物 ●道案内 ●旅行 ●食事 など

## b 生徒の身近な暮らしにかかわる場面

- 家庭での生活 ●学校での学習や活動
- 地域の行事 など

## 言語の働きの例

## a コミュニケーションを円滑にする

- 呼び掛ける ●相づちをうつ
- 聞き直す ●繰り返す など

## b 気持ちを伝える

- 礼を言う ●苦情を言う ●褒める
- 謝る など

## c 情報を伝える

- 説明する ●報告する ●発表する ●描写する など

## d 考えや意図を伝える

- 申し出る ●約束する ●意見を言う
- 賛成する ●反対する ●承諾する
- 断る など

## e 相手の行動を促す

- 質問する ●依頼する ●招待する など

イ 生徒の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。

## (ア) 第1学年における言語活動

小学校における外国語活動を通じて音声面を中心としたコミュニケーションに対する積極的な態度などの一定の素地が育成されることを踏まえ、身近な言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動を行わせること。その際、自分の気持ちや身の回りの出来事などの中から簡単な表現を用いてコミュニケーションを図れるような話題を取り上げること。

## (イ) 第2学年における言語活動

第1学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行わせること。その際、第1学年における学習内容を繰り返して指導し定着を図るとともに、事実関係を伝えたり、物事について判断したりした内容などの中からコミュニケーションを図れるような話題を取り上げること。

## (ウ) 第3学年における言語活動

第2学年までの学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを一層広げた言語活動を行わせること。その際、第1学年及び第2学年における学習内容を繰り返して指導し定着を図るとともに、様々な考えや意見などの中からコミュニケーションが図れるような話題を取り上げること。

## (3) 言語材料

(1) の言語活動は、以下に示す言語材料の中から、1の目標を達成するのにふさわしいものを適宜用いて行わせる。

## ア 音声

- (ア) 現代の標準的な発音
- (イ) 語と語の連結による音変化
- (ウ) 語、句、文における基本的な強勢
- (エ) 文における基本的なイントネーション
- (オ) 文における基本的な区切り

**言語の使用場面の例**

- a 特有の表現がよく使われる場面
  - あいさつ ●自己紹介 ●電話での応答
  - 買い物 ●道案内 ●旅行 ●食事 など
- b 生徒の身近な暮らしにかかわる場面
  - 家庭での生活 ●学校での学習や活動
  - 地域の行事 など

**言語の働きの例**

- a 考えを深めたり情報を伝えたりするもの
  - 意見を言う ●説明する ●報告する
  - 発表する ●描写する など
- b 相手の行動を促したり自分の意志を示したりするもの
  - 質問する ●依頼する ●招待する
  - 申し出る ●確認する ●約束する
  - 賛成する / 反対する ●承諾する / 断る など
- c 気持ちを伝えるもの
  - 礼を言う ●苦情を言う ●ほめる
  - 謝る など

**イ 学習段階を考慮した指導上の配慮事項**

生徒の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。

- (ア) 第1学年における言語活動
 

英語を初めて学習することに配慮し、コミュニケーションに対する積極的な態度の育成を重視するとともに、身近な言語の使用場面や言語の働きに配慮した言語活動を行わせること。その際、自分の気持ちや身の回りのできごとなどの中から簡単な表現を用いてコミュニケーションを図れるような話題を取り上げること。
- (イ) 第2学年における言語活動
 

第1学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行わせること。その際、第1学年に加え、特に、事実関係を伝えたり、物事について判断したりした内容などの中からコミュニケーションを図れるような話題を取り上げること。
- (ウ) 第3学年における言語活動
 

第2学年の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを一層広げた言語活動を行わせること。その際、第2学年に加え、特に、様々な考えや意見などの中からコミュニケーションが図れるような話題を取り上げること。

**(3) 言語材料**

(1)の言語活動は、以下に示す言語材料のうちから、1の目標を達成するのにふさわしいものを適宜用いて行わせる。

**ア 音声**

- (ア) 現代の標準的な発音
- (イ) 語と語の連結による音変化
- (ウ) 語、句、文における基本的な強勢
- (エ) 文における基本的なイントネーション
- (オ) 文における基本的な区切り

**イ 文字及び符号**

- (ア) アルファベットの活字体の大文字及び小文字
- (イ) 終止符, 疑問符, コンマ, 引用符, 感嘆符など基本的な符号

**ウ 語, 連語及び慣用表現**

- (ア) 1200語程度の語
- (イ) in front of, a lot of, get up, look for などの連語
- (ウ) excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcome, for example などの慣用表現

**エ 文法事項**

- (ア) 文
  - a 単文, 重文及び複文
  - b 肯定及び否定の平叙文
  - c 肯定及び否定の命令文
  - d 疑問文のうち, 動詞で始まるもの, 助動詞 (can, do, may など) で始まるもの, or を含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

(イ) 文構造

a [ 主語+動詞 ]

b [ 主語+動詞+補語 ] のうち,

- (a) 主語+ be 動詞+
  - 名詞
  - 代名詞
  - 形容詞
- (b) 主語+ be 動詞以外の動詞+
  - 名詞
  - 形容詞

c [ 主語+動詞+目的語 ] のうち,

- (a) 主語+動詞+
  - 名詞
  - 代名詞
  - 動名詞
  - to 不定詞
  - how (など) to 不定詞
  - that で始まる節

(b) 主語+動詞+ what などで始まる節

d [ 主語+動詞+間接目的語+直接目的語 ] のうち,

- (a) 主語+動詞+間接目的語+
  - 名詞
  - 代名詞

(b) 主語+動詞+間接目的語+ how (など) to 不定詞

e [ 主語+動詞+目的語+補語 ] のうち,

- (a) 主語+動詞+目的語+
  - 名詞
  - 形容詞

f その他

- (a) There + be 動詞+～
- (b) It + be 動詞+～ ( + for ~ ) + to 不定詞
- (c) 主語+ tell, want など+目的語+ to 不定詞
- (ウ) 代名詞
  - a 人称, 指示, 疑問, 数量を表すもの
  - b 関係代名詞のうち, 主格の that, which, who 及び目的格の that, which の制限的用法

**イ 文字及び符号**

- (ア) アルファベットの活字体の大文字及び小文字
- (イ) 終止符, 疑問符, コンマ, 引用符, 感嘆符などの基本的な符号

**ウ 語, 連語及び慣用表現**

- (ア) 別表1に示す語を含めて, 900語程度までの語(季節, 月, 曜日, 時間, 天気, 数(序数を含む), 家族などの日常生活にかかわる基本的な語を含む)
- (イ) 連語のうち基本的なもの
- (ウ) 慣用表現のうち, excuse me, I see, I'm sorry, thank you, you're welcome, for example など基本的なもの

**エ 文法事項**

- (ア) 文
  - a 単文, 重文及び複文
  - b 肯定及び否定の平叙文
  - c 肯定及び否定の命令文
  - d 疑問文のうち, 動詞で始まるもの, can, do, may などの助動詞で始まるもの, or を含むもの及び how, what, when, where, which, who, whose, why の疑問詞で始まるもの
  - (イ) 文型
    - a [主語+動詞] の文型
    - b [主語+動詞+補語] の文型のうち,
      - (a) 主語+ be 動詞+
        - 名詞
        - 代名詞
        - 形容詞
      - (b) 主語+ be 動詞以外の動詞+
        - 名詞
        - 形容詞
    - c [主語+動詞+目的語] の文型のうち,
      - (a) 主語+動詞+
        - 名詞
        - 代名詞
        - 動名詞
        - to 不定詞
        - how (など) to 不定詞
        - that で始まる節
      - (b) 主語+動詞+ what などで始まる節
    - d [主語+動詞+間接目的語+直接目的語] の文型のうち,
      - (a) 主語+動詞+間接目的語+
        - 名詞
        - 代名詞
      - (b) 主語+動詞+間接目的語+ how (など) to 不定詞
    - e [主語+動詞+目的語+補語] の文型のうち,
      - (a) 主語+動詞+目的語+
        - 名詞
        - 形容詞
    - f その他の文型のうち,
      - (a) There + be 動詞+~
      - (b) It + be 動詞+~ (+ for ~) + to 不定詞
      - (c) 主語+ tell, want など+目的語+ to 不定詞
  - (ウ) 代名詞
    - a 人称, 指示, 疑問, 数量を表すもの
    - b 関係代名詞のうち, 主格の that, which, who 及び目的格の that, which の制限的用法の基本的なもの

第2 各言語の目標及び内容等	2 内容	<p>(エ) 動詞の時制など 現在形, 過去形, 現在進行形, 過去進行形, 現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現</p> <p>(オ) 形容詞及び副詞の比較変化</p> <p>(カ) to 不定詞</p> <p>(キ) 動名詞</p> <p>(ク) 現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法</p> <p>(ケ) 受け身</p>
	3 指導計画の作成と内容の取扱い	<p><b>(4) 言語材料の取扱い</b></p> <p><b>ア</b> 発音と綴りとを関連付けて指導すること。</p> <p><b>イ</b> 文法については, コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ, 言語活動と効果的に関連付けて指導すること。</p> <p><b>ウ</b> (3) のエの文法事項の取扱いについては, 用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し, 実際に活用できるように指導すること。また, 語順や修飾関係などにおける日本語との違いに留意して指導すること。</p> <p><b>エ</b> 英語の特質を理解させるために, 関連のある文法事項はまとまりをもって整理するなど, 効果的な指導ができるよう工夫すること。</p>
		<p><b>(1) 指導計画の作成に当たっては, 次の事項に配慮するものとする。</b></p> <p><b>ア</b> 各学校においては, 生徒や地域の実態に応じて, 学年ごとの目標を適切に定め, 3学年間を通して英語の目標の実現を図るようにすること。</p> <p><b>イ</b> 2の(3)の言語材料については, 学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導すること。</p> <p><b>ウ</b> 音声指導に当たっては, 日本語との違いに留意しながら, 発音練習などを通して2の(3)のアに示された言語材料を継続して指導すること。 また, 音声指導の補助として, 必要に応じて発音表記を用いて指導することもできること。</p> <p><b>エ</b> 文字指導に当たっては, 生徒の学習負担に配慮し筆記体を指導することもできること。</p> <p><b>オ</b> 語, 連語及び慣用表現については, 運用度の高いものを用い, 活用することを通して定着を図るようにすること。</p> <p><b>カ</b> 辞書の使い方に慣れ, 活用できるようにすること。</p> <p><b>キ</b> 生徒の実態や教材の内容などに応じて, コンピュータや情報通信ネットワーク, 教育機器などを有効活用したり, ネイティブ・スピーカーなどの協力を得たりなどすること。 また, ペアワーク, グループワークなどの学習形態を適宜工夫すること。</p>
		<p><b>(2)</b></p> <p>教材は, 聞くこと, 話すこと, 読むこと, 書くことなどのコミュニケーション能力を総合的に育成するため, 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮したものを取り上げるものとする。その際, 英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活, 風俗習慣, 物語, 地理, 歴史, 伝統文化や自然科学などに関するものの中から, 生徒の発達の段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げるものとし, 次の観点に配慮する必要がある。</p> <p><b>ア</b> 多様なものの見方や考え方を理解し, 公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。</p> <p><b>イ</b> 外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに, 言語や文化に対する関心を高め, これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。</p> <p><b>ウ</b> 広い視野から国際理解を深め, 国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに, 国際協調の精神を養うのに役立つこと。</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第2 各言語の目標及び内容等</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 内容</p>	<p>(エ) 動詞の時制など 現在形, 過去形, 現在進行形, 過去進行形, 現在完了形及び助動詞などを用いた未来表現</p> <p>(オ) 形容詞及び副詞の比較変化</p> <p>(カ) to 不定詞のうち基本的なもの</p> <p>(キ) 動名詞のうち基本的なもの</p> <p>(ク) 現在分詞及び過去分詞の形容詞としての用法</p> <p>(ケ) 受け身のうち現在形及び過去形</p>
	<p><b>(4) 言語材料の取扱い</b></p> <p>ア (3) の「エ文法事項」の(イ)のcの(b), dの(b)及び(ウ)のbについては, 理解の段階にとどめること。</p> <p>イ (3) の「エ文法事項」の取扱いについては, 用語や用法の区別などの指導が中心とならないよう配慮し, 実際に活用する指導を重視するようにすること。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 指導計画の作成と内容の取扱い</p>	<p><b>(1) 指導計画の作成に当たっては, 次の事項に配慮するものとする。</b></p> <p>ア 各学校においては, 生徒の実態や地域の実情に応じて, 学年ごとの目標を適切に定め, 3年間を通して英語の目標の実現を図るようにすること。</p> <p>イ 各学年とも, 2の「(1) 言語活動」のうち, 特に聞くこと及び話すことの言語活動に重点をおいて指導すること。</p> <p>ウ 2の「(3) 言語材料」については, 学習段階に応じて平易なものから難しいものへと段階的に指導するとともに, 理解の段階にとどめたり表現の段階まで高めたりするなどして効果的に指導すること。</p> <p>エ 音声指導に当たっては, 聞くこと及び話すことを重視する観点から発音練習などを通して2の(3)の「ア音声」に示された言語材料を継続して指導すること。 また, 音声指導の補助として, 必要に応じて発音表記を用いて指導することもできること。</p> <p>オ 文字指導に当たっては, 生徒の学習負担に配慮し筆記体を指導することもできること。</p> <p>カ 語, 連語及び慣用表現の指導に当たっては, 運用度の高いものを厳選し, 習熟を図るようにすること。</p> <p>キ 辞書の初歩的な使い方に慣れ, 必要に応じて活用できるようにすること。</p> <p>ク 生徒の実態や教材の内容に応じて, コンピュータや情報通信ネットワーク, 教育機器などの有効活用やネイティブ・スピーカーなどの協力を得ることなどに留意すること。 また, 学習形態などを工夫し, ペアワーク, グループワークなどを適宜取り入れること。</p>	
	<p><b>(2)</b></p> <p>教材は, 英語での実践的コミュニケーション能力を育成するため, 実際の言語の使用場面や言語の働きに十分配慮したものを取り上げるものとする。その際, 英語を使用している人々を中心とする世界の人々及び日本人の日常生活, 風俗習慣, 物語, 地理, 歴史などに関するものの中から, 生徒の心身の発達段階及び興味・関心に即して適切な題材を変化をもたせて取り上げるものとし, 次の観点到に配慮する必要がある。</p> <p>ア 多様なものの見方や考え方を理解し, 公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。</p> <p>イ 世界や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに, 言語や文化に対する関心を高め, これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと。</p> <p>ウ 広い視野から国際理解を深め, 国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに, 国際協調の精神を養うのに役立つこと。</p>	
	<p><b>別表1*</b></p>	

## 新

その他の外国語

その他の外国語については、英語の目標及び内容等に準じて行うものとする。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

- 1 小学校における外国語活動との関連に留意して、指導計画を適切に作成するものとする。
- 2 外国語科においては、英語を履修させることを原則とする。
- 3 第1章総則の第1の2及び第3章道德の第1に示す道德教育の目標に基づき、道德の時間などとの関連を考慮しながら、第3章道德の第2に示す内容について、外国語科の特質に応じて適切な指導をすること。

# 旧

第3 指導計画の作成と内容の取扱い	その他の外国語	<p>その他の外国語については、英語の目標及び内容等に準じて行うものとする。</p>
		<p>1 必修教科としての「外国語」においては、英語を履修させることを原則とする。</p> <p>2 選択教科としての「外国語」においては、生徒の特性等に応じ多様な学習活動が展開できるよう、第2の内容その他の内容で各学校が定めるものについて、課題学習、コミュニケーション能力の基礎を培う補足的な学習、発展的な学習などの学習活動を各学校において適切に工夫して取り扱うものとする。</p>

別表1\*

a	about	across	after	all	am	among	an
and	another	anyone	anything	are	as	at	because
before	between	both	but	by	can	could	do
down	during	each	either	everyone	everything	for	from
has	have	he	her	hers	him	his	how
I	if	in	into	is	it	may	me
mine	must	my	near	nothing	of	off	on
one	or	other	our	ours	over	shall	she
should	since	so	someone	something	than	that	the
their	them	then	these	they	this	those	through
to	under	until (till)	up	us	we	what	when
where	which	who	whose	why	will	with	without
would	you	your	yours				

# Ⅲ 小学校新学習指導要領（外国語活動）

第1 目 標	<p>外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。</p>
第2 内 容	<p>〔第5学年及び第6学年〕</p> <p>1 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるよう、次の事項について指導する。</p> <p>(1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること。  (2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりすること。  (3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知ること。</p> <p>2 日本と外国の言語や文化について、体験的に理解を深めることができるよう、次の事項について指導する。</p> <p>(1) 外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の面白さや豊かさに気付くこと。  (2) 日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気付くこと。  (3) 異なる文化をもつ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深めること。</p>
第3 指 導 計 画 の 作 成 と 内 容 の 取 扱 い	<p>1 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 外国語活動においては、英語を取り扱うことを原則とすること。  (2) 各学校においては、児童や地域の実態に応じて、学年ごとの目標を適切に定め、2学年間を通して外国語活動の目標の実現を図るようにすること。  (3) 第2の内容のうち、主として言語や文化に関する2の内容の指導については、主としてコミュニケーションに関する1の内容との関連を図るようにすること。その際、言語や文化については体験的な理解を図ることとし、指導内容が必要以上に細部にわたったり、形式的になったりしないようにすること。  (4) 指導内容や活動については、児童の興味・関心にあったものとし、国語科、音楽科、図画工作科などの他教科等で児童が学習したことを活用するなどの工夫により、指導の効果を高めるようにすること。  (5) 指導計画の作成や授業の実施については、学級担任の教師又は外国語活動を担当する教師が行うこととし、授業の実施に当たっては、ネイティブ・スピーカーの活用に努めるとともに、地域の実態に応じて、外国語に堪能な地域の人々の協力を得るなど、指導体制を充実すること。  (6) 音声を取り扱う場合には、CD、DVDなどの視聴覚教材を積極的に活用すること。その際、使用する視聴覚教材は、児童、学校及び地域の実態を考慮して適切なものとする。  (7) 第1章総則の第1の2及び第3章道德の第1に示す道德教育の目標に基づき、道德の時間などとの関連を考慮しながら、第3章道德の第2に示す内容について、外国語活動の特質に応じて適切な指導をすること。</p> <p>2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>(1) 2学年間を通じ指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。</p> <p>ア 外国語でのコミュニケーションを体験させる際には、児童の発達の段階を考慮した表現を用い、児童にとって身近なコミュニケーションの場面を設定すること。  イ 外国語でのコミュニケーションを体験させる際には、音声面を中心とし、アルファベットなどの文字や単語の取扱いについては、児童の学習負担に配慮しつつ、音声によるコミュニケーションを補助するものとして用いること。  ウ 言葉によらないコミュニケーションの手段もコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、ジェスチャーなどを取り上げ、その役割を理解させるようにすること。  エ 外国語活動を通して、外国語や外国の文化のみならず、国語や我が国の文化についても併せて理解を深めることができるようにすること。  オ 外国語でのコミュニケーションを体験させるに当たり、主として次に示すようなコミュニケーションの場面やコミュニケーションの働きを取り上げるようにすること。</p>

### コミュニケーションの場面の例

(ア) 特有の表現がよく使われる場面

- あいさつ ●自己紹介 ●買物 ●食事 ●道案内 など

(イ) 児童の身近な暮らしにかかわる場面

- 家庭での生活 ●学校での学習や活動 ●地域の行事 ●子どもの遊び など

### コミュニケーションの働きの例

(ア) 相手との関係を円滑にする

(イ) 気持ちを伝える

(ウ) 事実を伝える

(エ) 考えや意図を伝える

(オ) 相手の行動を促す

(2) 児童の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。

#### ア 第5学年における活動

外国語を初めて学習することに配慮し、児童に身近で基本的な表現を使いながら、外国語に慣れ親しむ活動や児童の日常生活や学校生活にかかわる活動を中心に、友達とのかかわりを大切にされた体験的なコミュニケーション活動を行うようにすること。

#### イ 第6学年における活動

第5学年の学習を基礎として、友達とのかかわりを大切にしながら、児童の日常生活や学校生活に加え、国際理解にかかわる交流等を含んだ体験的なコミュニケーション活動を行うようにすること。

# IV 年間指導計画 1年生

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
4	8 [6]	入門期 Let's Enjoy English! ① Say It in English! ② A for "Apple" ③ Let's Say Numbers! ④ Can It Swim? ⑤ Where Is It? ⑥ The Characters	単語 アルファベット 数 動詞 方角を表す語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 身近なものの名前を英語で聞き、英語の音に慣れる。</li> <li>● アルファベットが表す音について理解し、クイズを楽しむことができる。</li> <li>● 英語の数を聞いたり言ったりしながら、クイズを楽しむことができる。</li> <li>● 動作を表す言葉を聞いたり言ったりしながら、クイズを楽しむことができる。</li> <li>● 英語の指示を聞いたり言ったりしながら、世界旅行ゲームを楽しむことができる。</li> <li>● 登場人物の紹介を聞いて、だれのことを言っているか理解できる。</li> </ul>
5	3	Unit 1 Hi! 物語の主人公、ヒロとジェニーが読者に自己紹介をする。	I'm ~ . I'm from ~ .	● 自己紹介をすることができる。
	5 [4]	Unit 2 At the Airport ジェニーが来日。ホストファミリーであるヒロの家族が、空港でジェニーを出迎える。	Are you ~ ? Yes, I am. / No, I'm not. This is ~ . this と that	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相手の名前などを尋ねることができる。</li> <li>● 友達を紹介することができる。</li> <li>● 初対面のあいさつなどを理解し、使うことができる。</li> </ul>
	6 [5]	Unit 3 Jenny's First Day at School ヒロが自分の友達や学校の先生たちをジェニーに紹介する。	He's/She's ~ . Who's ~ ? Is he ~ ? Yes, he is. / No, he isn't. a と an	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校の先生について、教科などを紹介することができる。</li> <li>● 友達や先生、家族のことを尋ねることができる。</li> <li>● 英語で時間割を作ることができる。</li> </ul>
6	1	Let's Try カードゲームをしよう	What's ~ ? A or B?	● カードを使って質問しながらゲームをすることができる。
	1	Language Focus 1	人称代名詞(単数), be 動詞を使う文(肯定文・否定文・疑問文)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人称による主語の違いを理解する。</li> <li>● be 動詞を使う文の組み立てを理解する。</li> </ul>
	7 [5]	Unit 4 Jenny's Best Friend ヒロが、ジェニーの親友でロサンゼルスにいるサラと、インターネット電話で日本のアニメについて話す。	一般動詞 助動詞 do 名詞の複数形	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が好きなものや趣味について話すことができる。</li> <li>● 相手が好きなものや趣味について尋ねることができる。</li> <li>● 好きな映画や本、歌などを紹介する文を書くことができる。</li> <li>● 日本のアニメが外国で評価されていることを理解し、自国の文化に関心をもつ。</li> </ul>
7	1	Skit Time お名前は?	~, please.	● ものを借りるときやお礼を言うときの表現を理解し、スキットを演じることができる。
	6 [5]	Unit 5 A Summer Festival 楽しみにしていた日本の夏祭り。ジェニーはヒロのお母さんが仕立ててくれた浴衣を着て、盆踊りを踊る。	命令文 Don't ~ . Please ~ . Let's ~ .	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指示や命令を聞いて適切に応じることができる。</li> <li>● 指示や命令をすることができる。</li> <li>● ていねいに頼んだり、相手を誘ったりすることができる。</li> <li>● 会話をつなぐときの表現を使うことができる。</li> </ul>

\* 「追加する単語」で赤字で示したものは、「プラス300語」にあたる単語

移行措置	追加する単語
<p>配当時間を2時間増やして発音と綴りの関係を学習する。 ①②④⑤の教材で右の単語を覚えて使えるようにする。 【Phonics Corner 1 子音の読み方】 【Phonics Corner 2 母音の読み方】 【Phonics Corner 3 読めるかな?】</p>	<p>①【家の中にある物】 bag bed cat <b>clock</b> dog book ②【アルファベットと単語】 egg fox hat <b>ink</b> pig sun ④【動詞】 walk run stand sit <b>jump</b> fly swim ⑤【方角】 east west <b>north</b> south</p>
<p>I'm ~. の文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 1年 Unit 1】</p>	
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。 ● 相手の名前を尋ねたり人を紹介したりする文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 1年 Unit 2】</p>	
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。 ● 友達や先生、家族のことを紹介したり尋ねたりする文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 1年 Unit 3】 ● 教科書 p.32のビンゴゲームをしながら、右の「身の回りの物」を表す単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>【身の回りの物】 table <b>chair</b> glasses (メガネ) telephone orange window watch (腕時計) cup camera</p>
<p>● カードゲームをしながら、付録の単語カードにある右の単語（文房具など）を覚えて使えるようにする。</p>	<p>【文房具など】 eraser <b>notebook</b> comic ruler CD player</p>
<p>配当時間を2時間増やして次の活動を行う。 ● 自分の好きなものや趣味について述べたり相手に尋ねたりする文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 1年 Unit 4】 ● CTのThinking Drill, Class Workをしながら、付録の単語カードにある右の単語（食べ物）を覚えて使えるようにする。 ● 自分の好きなものについて友達に知らせるメールを書く。Extraの活動を発展させる。【Write More Corner 「メールを書こう」】</p>	<p>【食べ物】 potato rice bread meat fish</p>
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。 ● 発音と綴りの関係を学習する。 【Phonics Corner 4 長い母音と短い母音】 ● 指示や命令をする言い方や誘うときの言い方の文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 1年 Unit 5】 ● CTの命令ゲームをしながら、右の「体の部分」を表す語などを覚えて使えるようにする。【Vocabulary Worksheet 「体の部分を表す言葉」】</p>	<p>【動作】 raise 【体の部分を表す言葉】 body shoulder arm hand finger hair leg knee</p>

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
9	1	Let's Try 何時ですか?	What time ~? It's ~.	● 時刻について尋ねたり答えたりすることができる。
	8 [6]	Unit 6 A Dream Player サッカー部のことで悩んでいるヒロ。ジェニーは有名なサッカー選手エドゥーをインターネットで呼び出す。	3人称・単数・ 現在 助動詞 does	● 友達や家族など身近な人について説明することができる。 ● 友達や家族など身近な人について尋ねることができる。 ● 友達や家族を紹介する文を書くことができる。 ● 雑誌の記事を読んで要点を理解することができる。
10	1	Language Focus 2	一般動詞を使う 文(肯定文・否定文・疑問文)	● 一般動詞を使う文の組み立てを理解する。
	3	Challenge! 1 自己紹介をしよう		● 自分が好きなことを紹介するスピーチをすることができる。 ● 友達のスピーチを聞いてよいところに気づくことができる。
	5 [4]	Unit 7 A Message from Brazil エドゥーの計らいで、サッカーが大好きなブラジルの少年たちからヒロにすてきなメッセージが届く。	現在進行形 Why ~? Because ~.	● だれが何をしているかを伝えることができる。 ● だれが何をしているか尋ねることができる。 ● ブラジルの言葉や文化について理解し、関心をもつ。
	1	Let's Try 辞書を使う		● 英和辞典と和英辞典の使い方に慣れる。 ● 一つの単語でもさまざまな意味があることを知る。
11	6 [5]	Unit 8 At a Bazaar メッセージをくれたブラジルの少年たちに贈り物をしようと、ヒロはジェニーといっしょにバザーに出かける。	Where ~? Which ~? How much ~? 場所を表す前置詞	● 「どこにあるか」と場所を尋ねたり、それに答えたりすることができる。 ● 「どれが好きか」と尋ねたり、それに答えたりすることができる。 ● 買い物をするときの言い方を理解して、使うことができる。
	1	Skit Time テストはいつ?	When ~? 月を表す語と序数詞	● 日時を尋ねる言い方を理解し、スキットを演じることができる。
	5 [4]	Unit 9 Leo's Walk 犬のレオの散歩をサボっていたヒロ。お母さんにしかられて、久しぶりにレオを散歩に連れていく。	助動詞 can How old ~?	● できることやできないことを伝えることができる。 ● 相手ができることを尋ねたり、それに答えたりすることができる。 ● ヒロやジェニーの気持ちを想像して、本文を音読することができる。
12	1	Skit Time 落とし物	Whose ~? 所有代名詞	● だれのものか尋ねる言い方を理解し、スキットを演じることができる。
	1	Language Focus 3	代名詞・疑問詞	● 人称代名詞の変化について理解する。 ● wh- 疑問詞の意味と用法を理解する。
	5	Challenge! 2 What Am I?		● What Am I? ゲームでヒントを出したり、質問に答えたりすることができる。 ● ヒントを聞きながら質問することができる。
	(1)	Special Program 1 MUSIC Hello Goodbye		● 外国の歌を聞いたり歌ったりすることに興味をもつ。

移行措置	追加する単語
<p>配当時間を2時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スポーツ選手を紹介する文章を読んで内容を正しく理解する。 【Read More Corner “A Dream Player”】</li> <li>● 友達や家族などを説明したり尋ねたりする文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 1年 Unit 6】</li> </ul>	
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、自己紹介のスピーチをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 右のクラブ活動に関する単語を覚えて使えるようにする。</li> </ul>	<p>band sound beautiful listen CD home exciting 【クラブ活動】 club tennis baseball volleyball art</p>
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 友達がしていることを尋ねたり答えたりする会話を聞いて、情報を正しく聞き取る。【Listen More Corner 「今、何をしているの?」】</li> <li>● 「～が・・・している」と言う文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 1年 Unit 7】</li> </ul>	
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● バザーの広告を見ながら話している会話を聞いて、情報を正しく聞き取る。【Listen More Corner 「バザーの広告」】</li> <li>● 「どこにあるか」「どちらが好きか」と尋ねる文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 1年 Unit 8】</li> <li>● CTのPair Work 2の活動を発展的に行い、右の「身に着ける物」や「色」を表す単語を覚える。【Vocabulary Worksheet 「商品のカタログ」】</li> </ul>	<p>【商品のカタログ】 coat cap shoes red yellow white brown green</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 右の「月の名前」をあわせて覚える。</li> </ul>	<p>【月の名前】 January February March April June July August September October</p>
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● できることやできないことを伝えたり尋ねたりする会話を聞いて、情報を正しく聞き取る。【Listen More Corner 「何ができるかな?」】</li> <li>● できることやできないことを伝えたり尋ねたりする文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 1年 Unit 9】</li> </ul>	
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、What Am I? ゲームをする。 新聞作りの活動にさらに2時間を充てる。 【Write More Corner 「わたしの Hero / Heroine 新聞」】</p>	<p>animal zoo strong write answer paper sea</p>

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
1	7 [6]	Unit 10 Jenny's New Year's Call お正月を京都で過ごしたジェニーは、その様子をロサンゼルスにいるおじいさんに電話で話す。	一般動詞の過去形（規則変化） 助動詞 did	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去の出来事を伝えることができる。</li> <li>● 過去の出来事を尋ねたり答えたり、話題を広げて会話をすることができる。</li> <li>● 電話のときに使う表現を理解して使うことができる。</li> </ul>
2	6 [5]	Unit 11 Jenny's Canadian Friend ジェニーのもとにいろいろな国の友達からカードが届くが、そのうちの1枚が注目を集める。	一般動詞の過去形（不規則変化） some と any Can we ~ ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過去の出来事を伝えたり尋ねたりすることができる。</li> <li>● カードの書き方を知り、冬休みのことをカードに書くことができる。</li> <li>● 季節のカードを送る外国の文化に触れたり、日本と外国との季節の違いを理解したりする。</li> </ul>
	6 [5]	Unit 12 Valentine's Day 雪が積もったバレンタインデー。クラスのみinnで雪だるまを作ることになったが、そのとき思わぬ出来事が起こる。	I think (that) ~ .	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の考えを伝えることができる。</li> <li>● 本文を読んで、登場人物の行動や気持ちを理解することができる。</li> </ul>
3	1	Language Focus 4	動詞、目的語、修飾語（語順）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 動詞・目的語・修飾語の語順を理解する。</li> </ul>
	5	Challenge! 3 Show and Tell		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分が大切にしているものについて絵や写真を見せながらスピーチをすることができる。</li> <li>● 友達のスピーチを聞いて内容を理解する。</li> </ul>
	(1)	Special Program 2 MUSIC Sing		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国の歌を聞いたり歌ったりすることに興味をもつ。</li> </ul>

移行措置	追加する単語
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 週末にしたことについての会話を聞いて、情報を正しく聞き取る。 【Listen More Corner 「週末にしたこと」】</li> <li>● 一般動詞の過去形(規則変化)を使う文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 1年 Unit 10】</li> </ul>	
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国の友達から来たカードを読んで内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。 【Read More Corner “A Card from Australia”】</li> <li>● 一般動詞の過去形(不規則変化)を使う文を正しく書けるようにする。 【Practice Corner 1年 Unit 11】</li> </ul>	<p>【A Card from Australia】 party season cook (動詞)</p>
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本とアメリカのバレンタインデーの違いについて説明した文章を読んで内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。【Read More Corner “Valentine’s Day in Japan and in America”】</li> <li>● 自分の考えを伝える文を正しく書く。 【Practice Corner 1年 Unit 12】</li> </ul>	<p>【Valentine’s Day in Japan and in America】 give difference better</p>
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、「自分が大切にしているもの」というテーマでスピーチを行う。 自分の1年を振り返って文章を書く活動にさらに2時間を充てる。 【Write More Corner 「わたしの『中学1年』」】</p>	<p>always shower</p>

# 年間指導計画 2年生

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
4	8 [5]	Unit 1 Jenny's Speech アメリカと日本の学校生活の違いについて、ジェニーがスピーチをする。	be 動詞の過去形 過去進行形 I hope ~ .	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「～だった」と過去の様子について伝えたり尋ねたりすることができる。</li> <li>● 「～していた」と過去にしていたことについて伝えたり尋ねたりすることができる。</li> <li>● 本文を読んで、ジェニーのスピーチの内容を理解し、それについて話すことができる。</li> </ul>
	1	Special Program 1 ROLE-PLAY Where Is the Necklace?	ロールプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「～だった」「～していた」という言い方を使ってロールプレイができる。</li> </ul>
5	1	Language Focus 1	過去形のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般動詞・be 動詞の過去形・過去進行形の用法を理解することができる。</li> </ul>
	3	Challenge! 1 Talk about Yourself	スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 具体的な情報で話題を広げて、新しいクラスの友達に1分間の自己紹介をすることができる。</li> <li>● 友達のスピーチを聞き取って、その内容について話すことができる。</li> </ul>
	7 [5]	Unit 2 No News from Hiro ヒロの妹サナエはサッカーチームの中心選手で、試合での活躍を家族に話す。まだレギュラーになれないヒロは素直に喜べない。	助動詞 will be going to ~ Why don't you ~? Will you ~?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未来の予定や計画について伝えたり尋ねたりすることができる。</li> <li>● 登場人物の気持ちを理解して、感情を込めて本文を音読することができる。</li> <li>● 手紙を読んで要点を理解するとともに、英文の手紙の形式を理解して書くことができる。</li> </ul>
6	9 [6]	Unit 3 Welcome Home 夏休み、帰省するジェニーといっしょに、ヒロとサナエもロサンゼルスにやって来た。空港でお父さんとジェニーのおじいさんが出迎えてくれる。	There's / There are ~ . Can I ~ ? How long ~ ? How many ~ ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「(～に) …がある」という言い方で町にあるものやそこにいる人について伝えることができる。</li> <li>● 「いくつあるか」と数を尋ねたり答えたりすることができる。</li> <li>● 自分の町を紹介する文を書くことができる。</li> <li>● 入国審査のやりとりを理解し、演じることができる。</li> <li>● ロサンゼルスにはさまざまな人々が暮らしていることを理解し、外国の社会や文化に関心をもつ。</li> </ul>
	(1)	Special Program 2 MUSIC I Just Called to Say I Love You		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歌詞に表れている外国の行事や季節感に興味をもつ。</li> <li>● スティービー・ワンダーや外国の音楽について関心をもつ。</li> </ul>
7	8 [6]	Unit 4 Meeting a Stranger ロサンゼルスの街で迷子になってしまうヒロ。そのとき、一人の老人から逆に道をきかれる。	不定詞(名詞的用法・副詞的用法) 動名詞 Can you ~ ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分のしたいことを相手に伝えることができる。</li> <li>● 「～すること」という言い方を理解して使うことができる。</li> <li>● 道を尋ねたり教えたりするときの表現を理解して使うことができる。</li> <li>● ヒロの心情やおじいさんの考え方を理解し、外国の社会や文化に関心をもつ。</li> </ul>
	1	Language Focus 2	さまざまな目的語	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主語+動詞+目的語という語順を確認し、目的語にさまざまな語句がくることを理解することができる。</li> </ul>

移行措置	追加する単語
<p>配当時数を3時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ラジオ番組の過去にしたことに関する会話を聞いて、情報を正しく聞き取る。 【Listen More Corner 「ラジオ番組」】</li> <li>● 外国の中学生の生活について書いた文章を読んで、内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。 【Read More Corner “Min - soo’ s Life in Korea”】</li> <li>● 「～だった」「～していた」という言い方の文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 2年 Unit 1】</li> <li>● 1年で学習した一般動詞の過去形、be 動詞と一般動詞の現在形を復習する。【Spiral Corner “Who Am I?”】</li> </ul>	<p>【Min - soo’ s Life in Korea】 busy introduce especially communicate often send exchange</p>
<p>選択的な扱いの教材に1時間を充て、ロールプレイをする。</p>	<p>restaurant car drive</p>
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、自己紹介の1分間スピーチを行う。</p>	<p>position</p>
<p>配当時間を2時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 予定に関するいくつかのアナウンスを聞いて概要や要点をとらえる。 【Listen More Corner 「いろいろなアナウンス」】</li> <li>● 未来の予定や計画について伝える文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 2年 Unit 2】</li> <li>● 手紙形式で自分の「夢の夏休み」を書く。Extra の活動を発展させる。 【Write More Corner 「夢の夏休みを語る手紙を書こう」】</li> <li>● CT の Pair Work を発展的に行ない、右の「天候」に関する単語を覚えて使えるようにする。【Vocabulary Worksheet 「天気を表す言葉」】</li> </ul>	<p>【天気を表す言葉】 cloud wind windy snowy</p>
<p>配当時間を3時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 公園にあるものについての案内を聞いて概要や要点をとらえる。 【Listen More Corner 「公園の案内」】</li> <li>● ロサンゼルスについて紹介したメールの文章を読んで、内容を正しく理解する。【Read More Corner “Welcome to L.A.!”】</li> <li>● 「(～に) …がある」という言い方の文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 2年 Unit 3】</li> <li>● There is (are) ～. といっしょに、1年で学習した疑問詞や I think ～. という言い方を使って言語活動をする。【Spiral Corner 「きみはツアープランナー」】</li> </ul>	
<p>配当時間を2時間増やして次の言語活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 短い物語を読んで内容を正しくとらえる。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。【Read More Corner “Mother’ s Birthday”】</li> <li>● 「～すること」という言い方の文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 2年 Unit 4】</li> <li>● CT の Pair Work を発展的に行い、右の「町を案内しよう」の単語を覚えて使えるようにする。【Vocabulary Worksheet 「町を案内しよう」】</li> </ul>	<p>【Mother’ s Birthday】 box notice forgot forget smile short pretty inside 【町を案内しよう】 theater library bank hospital church</p>

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
9	3	Challenge! 2 My Best Shot	スピーチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の思い出の写真を糸口にして、聞き手にわかりやすいスピーチ原稿を書くことができる。</li> <li>● 写真を示しながら、さまざまな工夫をして効果的にスピーチを行うことができる。</li> <li>● 友達のスピーチを聞き取ってその内容について話すことができる。</li> </ul>
	9 [5]	Unit 5 That's the Spirit サラはレギュラーになるため、バスケットボールの練習に熱心に取り組んでいる。楽しみながら練習にはげむサラを見て、ヒロは元気づけられる。	<b>when 節</b> <b>不定詞 (副詞的用法・形容詞的用法)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「～するために」という言い方で目的を伝えることができる。</li> <li>● 「～するための…」という言い方を使うことができる。</li> <li>● 「～するとき」という言い方で、いろいろなときに自分がすることを説明することができる。</li> <li>● サラの考えやヒロの心情を理解することができる。</li> </ul>
10	1	Skit Time At the Restaurant	Shall I ~ ? Would you like ~ ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● レストランの場面のスキットを作って演じることができる。</li> </ul>
	5 [4]	Let's Read Autumn Festival ベトナムの秋祭りは満月が主役。月の形をしたケーキを食べたりして、大人も子どもも楽しく過ごす。	as ~ as ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 文章を読んで内容を正しく理解することができる。</li> <li>● 外国の文化と日本の文化の共通点や違いに気づき関心をもつ。</li> </ul>
	1	Language Focus 3	不定詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不定詞 (名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法) の使い方を理解することができる</li> </ul>
	8 [5]	Unit 6 Halloween 明日はハロウィーン。ジャコランタンを作ったり、ハロウィーンの歴史について話したり…。そのときジェニーはダイスケのうわさを聞く。	<b>形容詞の比較変化</b> <b>(-er, -est)</b> <b>have to ~</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「比較級と最上級を用いてももの大きさなどを伝えることができる。</li> <li>● 必要があるかないかについて、自分の考えを伝えることができる。</li> <li>● 本文を読んで、登場人物の心情を理解することができる。</li> <li>● 本文を読んでハロウィーンの文化的背景を理解し、英米の文化に関心をもつ。</li> </ul>
11	8 [6]	Unit 7 A Friend in Need ヒロとジェニーはさびしそうなダイスケを見かける。最近クラスメートとうまくいってないらしい。ジェニーはヒロを促してダイスケに話しかける。	<b>形容詞の比較変化</b> <b>(more, most)</b> <b>if 節</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● more, most を用いて難しいことや大切なことについて比較して伝えることができる。</li> <li>● 「もし～なら」と条件をつけて物事を伝えることができる。</li> <li>● 登場人物の心情を自分に照らし合わせ、理解することができる。</li> <li>● 昔話を読んで内容を理解するとともに、問題解決の方法を考えることができる。</li> </ul>
12	1	Language Focus 4	比べるときの言い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原級・比較級・最上級の形と意味を理解している。</li> </ul>
	4	Challenge! 3 Our Opinions		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 与えられたトピックについて、自分の意見とその理由を相手にわかるように書くことができる。</li> <li>● 友達の意見を読み、それに応じて自分の意見を書くことができる。</li> <li>● できるだけ辞書を使わずに、英文を書き続けることができる。</li> </ul>

移行措置	追加する単語
<p>選択的な教材に3時間を充て、夏休みの思い出についてのスピーチを行う。</p>	<p>shot grew grow delicious</p>
<p>配当時間を4時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 大リーグのイチローがどのように努力したかを述べた文章を読んで、内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。【Read More Corner “Do You Know about Ichiro?”】</li> <li>● 「～するために」「～するための…」という言い方の文などを正しく書けるように練習する。【Practice Corner 2年 Unit 5】</li> <li>● Challenge! 2に続いて、自分の将来の夢を語るスピーチ原稿を書き、スピーチを行う。【Write More Corner 「わたしの将来」】</li> </ul>	<p>【Do You Know about Ichiro?】 effort center become enter professional true impossible</p>
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界のいろいろな祭りについて説明した文章を読んで、内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。【Read More Corner “Autumn Leaf Festival” “Diwali”】</li> </ul>	<p>【Autumn Leaf Festival】 leaf end close (動詞) left (動詞) 【Diwali】 light clothes decorate</p>
<p>配当時間を3時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ハロウィーンについて解説した文章を読んで内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。【Read More Corner “What Is Halloween?”】</li> <li>● 比較級、最上級、have to を使う文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 2年 Unit 6】</li> <li>● have to ～といっしょに want to ～, like to ～という表現や1年で学習した電話での言い方を復習する。【Spiral Corner 「誘うのが上手？」】</li> <li>● 形容詞の比較級、最上級を使う言語活動を行い、右の形容詞を覚えて使えるようにする。【Vocabulary Worksheet 「いろいろな形容詞」】</li> </ul>	<p>【What Is Halloween?】 custom began believe dead 【いろいろな形容詞】 heavy light slow low</p>
<p>配当時間を2時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の町について比べながら紹介しているボイスレターを聞いて概要や要点をとらえる。【Listen More Corner 「ボイスレター」】</li> <li>● 友人関係を題材にした文章を読んで考えを深める。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。【Read More Corner “You Are not Alone”】</li> <li>● more, most や if を使う文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 2年 Unit 7】</li> </ul>	<p>【You Are not Alone】 advice met told wait became</p>
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、文章を書いて友達と意見交換する活動を行う。さらに次の活動に1時間を充てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動販売機についての文章を読んで内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。【Read More Corner “Vending Machines”】</li> </ul>	<p>vacation bell necessary agree wrote 【Vending Machines】 machine wide neighborhood reduce choose</p>

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
1	(1)	Special Program 3 MUSIC All I Want for Christmas Is You		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歌詞の内容に表れている文化的背景に興味をもつ。</li> <li>● マライア・キャリーや外国の音楽に興味をもつ。</li> </ul>
	6 [5]	Unit 8 Hiro's Goal ヒロの初めての練習試合。家族みんなが応援にかけつけ、老犬レオもヒロの晴れ舞台を盛り上げる。	S+V+O+O	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「～に一を…する」という言い方で物事を伝えることができる。</li> <li>● 場面の様子や登場人物の心情を理解して、臨場感のある音読をすることができる。</li> <li>● 英文の日記の形式を理解し、日記を書くことができる。</li> </ul>
	1	Skit Time Shopping	How about ~? Could you ~?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 買い物の場面の会話を演じることができる。</li> <li>● ものをすすめたり、依頼したりする表現を理解している。</li> </ul>
2	7 [6]	Unit 9 Goodbye, Leo! 死が近づいているレオのそばで、ヒロはレオの思い出をジェニーに話す。「生き物はなぜ死ぬのだろう。」と悲しむヒロ。二人は死について、命について、考える。	受け身	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「～は…された」のような言い方で物事を説明することができる。</li> <li>● 自分の好きな本の紹介ができる。</li> <li>● 本文を読んで内容を理解し、印象に残る言葉を見つけることができる。</li> </ul>
	3	Challenge! 4 My Favorite Book		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 好きな本を紹介するために、本の内容の説明や自分の感想などを書くことができる。</li> <li>● 自分の書いた原稿をもとにスピーチができる。</li> </ul>
	1	Let's Try Signs	must, must not	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語の標識に興味をもち、その意味を理解したり、自分で標識を作ったりすることができる。</li> </ul>
3	6	Special Program 4 Water from Fog 水不足で困っていた南米チリのチュングンゴ村。シュメナウアー博士は、独創的な方法でこの村に水をもたらした。		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然科学に関する文章を読んで概要をつかみ、内容を理解することができる。</li> <li>● 文章から読み取ったことについて、自分の考えを述べることができる。</li> <li>● 自国の生活と文化を見直し、科学、環境と日常生活について考えることができる。</li> </ul>
	3 [1]	Language Focus 5	助動詞の意味と使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 助動詞の意味と使い方を理解することができる。</li> </ul>
	1	Special Program 5 HAIKU		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語による俳句を読み味わう。</li> <li>● 日本文化の世界への広がりを知る。</li> </ul>

移行措置	追加する単語
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本とアメリカのバレンタインデーの違いについての会話を聞いて、情報を正しく聞き取る。 【Listen More Corner 「バレンタインデー」】</li> <li>● 「～に一を…する」という言い方の文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 2年 Unit 8】</li> </ul>	
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年で学習した買い物場の場面の表現を復習しながら、スキットを作って演じる活動を発展的に行う。【Spiral Corner “Another Shopping”】</li> </ul>	
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 受け身の表現を使う文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 2年 Unit 9】</li> <li>● 受け身の表現を使う言語活動を発展的に行い、右の単語を覚えて使えるようにする。【Vocabulary Worksheet 「いろいろな動詞」】</li> </ul>	<p>【いろいろな動詞】 building build built sell sold bought given collect paint</p>
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、読書紹介をする。</p>	<p>mind baby clever lose lost read (過去形) happiness felt unhappy</p>
<p>選択的な扱いの教材に6時間を充て、文章の内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>scientist decide village dry lake fog water carry truck drop set net catch caught ran healthy simple energy continue</p>
<p>配当時間を2時間増やして、自分の1年間を振り返って書く活動を行う。 【Write More Corner 「わたしの『中学2年』」】</p>	
<p>選択的な扱いの教材に1時間を充て、各国の子どもたちが作った英語の俳句を鑑賞する。俳句中にある右の単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>friendly heat mistake nature grass nearly</p>

# 年間指導計画 3年生

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
4	6 [5]	Unit 1 Flower Viewing ヒロとジェニーが二人でお花見に行く。途中、バスの中でマナーの悪い青年をジェニーが注意しようとする。	tell / ask + O + to ~	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 春休みにしたことや感想を伝えることができる。</li> <li>● 「～に…するように言う(頼む)」という言い方を使って、場面を説明することができる。</li> <li>● 本文をモデルにして会話することができる。</li> </ul>
	3	Challenge! 1 You Are a Negotiator		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 相手の意見を聞き、立場を理解したうえで、自分の意見を述べるができる。</li> </ul>
5	9 [7]	Unit 2 A Visitor from Cambodia カンボジアで英語を教えているサリム先生がヒロたちのクラスにやって来た。戦争の傷跡が残るカンボジアの様子やカンボジアの子どもたちの夢などを話す。	現在完了 (継続・経験)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経験したことや続いていることを伝えることができる。</li> <li>● アジアの国に住む人々の生活や考え方について理解を深め、自分の考え方を振り返ることができる。</li> <li>● 本文をモデルにして、日本について質問したり説明したりすることができる。</li> </ul>
	8 [6]	Unit 3 Jenny's Experience on a Farm ヒロたちのクラスは田植えを体験する。農業に関してはほとんど無関心なクラスメートに、カズは将来は農業に携わりたいと言う。	現在完了(完了) S+V+what など +to ~ . It's ~ (for - ) to ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 完了したことやまだ完了していないことを伝えることができる。</li> <li>● 「～するのは…だ」という言い方で感想を述べるができる。</li> <li>● 「何を～したらよいか」などの言い方を使って友達と会話することができる。</li> <li>● 農業について自分の考えを述べるができる。</li> <li>● 農業などのさまざまな仕事やアフリカの食糧問題に関心をもつ。</li> </ul>
6	1	Skit Time Do you know <i>okononiyaki</i> ?	It's a kind of ~ . Sorry?	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分たちで何かを説明するスキットを作り、演じることができる。</li> </ul>
	2 [1]	Language Focus 1	現在完了(継続・経験・完了)	
	3	Challenge! 2 Let's Make a Presentation		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 友達にインタビューをして情報を得ることができる。</li> <li>● 調べた結果について発表原稿を書いたり、資料を作ったりすることができる。</li> <li>● 資料を示しながら発表することができる。</li> </ul>
7	9 [6]	Let's Read Spirit in the Sky 女性初の大西洋単独横断飛行を達成したアメリア・エアハートの伝記。挑戦を続けた彼女の生き方を紹介する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時間の経過に沿って、事実を読み取ることができる。</li> <li>● アメリア・エアハートの生き方やメッセージを理解することができる。</li> </ul>

移行措置	追加する単語
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界で話される英語に関するスピーチを聞いて、概要や要点を聞き取る。 【Listen More Corner 「スピーチ・英語について」】</li> <li>● 「～に…するように言う(頼む)」という言い方の文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 3年 Unit 1】</li> <li>● CTのAbout Youに関連して、右の「家族関係」の単語を覚えて使えるようにする。【Vocabulary Worksheet 「家族関係を表す言葉」】</li> </ul>	<p>【家族関係を表す言葉】 parent son daughter uncle aunt cousin husband wife</p>
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、場面を設定して交渉する活動を行う。</p>	<p>free letter lend lent</p>
<p>配当時間を2時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国の中学生が話す日本についての印象を聞いて、概要や要点を聞き取る。 【Listen More Corner 「日本の印象」】</li> <li>● Extraの発展として、世界各国の中学生の様子について説明した文章を読んで、内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。 【Read More Corner “The School in the Mountains” “My Father Is My Teacher”】</li> <li>● 現在完了を使って継続や経験を表す文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 3年 Unit 2】</li> <li>● CTのClass Workを発展的に行い、右の単語を覚えて使えるようにする。【Vocabulary Worksheet 「こんな経験したことある？」】</li> </ul>	<p>【The School in the Mountains】 map subject someday 【My Father Is My Teacher】 island teach taught dangerous hurt afraid 【こんな経験したことある？】 horse abroad climb ride ridden eaten break broken</p>
<p>配当時間を2時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界各国の食文化の違いについて説明した文章を読んで、内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。 【Read More Corner “Different Place, Different Manner”】</li> <li>● 現在完了を使って完了を表す文や、「～するのは…だ」「何を～したらよいか」などの言い方の文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 3年 Unit 3】</li> <li>● 新出の不定詞の用法を定着させながら、2年で学習した不定詞の用法を復習する。 【Spiral Corner 「不定詞百人一首」】</li> </ul>	<p>【Different Place, Different Manner】 manner chopsticks knife fork cut own share</p>
<p>教科書のOptionsにある右の単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>【Options】 pardon</p>
<p>配当時間を1時間増やし、インタビューゲームを通して現在完了の用法を定着させながら、既習の時制の用法を復習する。【Spiral Corner 「人探しレース」】</p>	
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、プレゼンテーションの活動を行う。</p>	<p>athlete reason money</p>
<p>配当時間を3時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 伝記的な文章を読み人間の生き方について考えを深める。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。 【Read More Corner “A True Sporting Spirit”】</li> <li>● 修学旅行のレポートを書く活動に2時間を充てる。 【Write More Corner 「修学旅行レポート」】 *修学旅行レポートの活動は各学校で適切な時期を選ぶとよい。</li> </ul>	<p>【A True Sporting Spirit】 attention reach final gold shock realize voice</p>

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
9	11 [7]	Unit 4 Sarah's Arrival ロサンゼルスに住んでいるサラが日本に遊びに来た。東京の街を案内しながら、ヒロはだれもが暮らしやすい社会について考える。	接触節 関係代名詞 (that)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接触節を使って人やものについてくわしく説明することができる。</li> <li>● 関係代名詞を使って人やものについてくわしく説明する言い方が理解できる。</li> <li>● ユニバーサルデザインの発想で作られた身の回りにあるものを見つけ、書いて説明することができる。</li> <li>● バリアフリーの考え方を理解し、関心をもつ。</li> </ul>
10	1	Skit Time On the Phone		
	1	Special Program 1 MOTHER GOOSE		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係代名詞が使われていることに気づき、意味を理解することができる。</li> <li>● リズムを楽しんで音読することができる。</li> </ul>
	9 [6]	Unit 5 A Future Career ジャーナリストになりたいと話すジェニーに対して、なかなか将来の夢を言わないヒロ。でも本当は社会福祉の仕事をしたいという夢があることをジェニーに打ち明ける。	関係代名詞 (who, which) 間接疑問文	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関係代名詞を使って人やものについてくわしく説明する言い方を理解することができる。</li> <li>● 「何を～するか(知っている)」という言い方を理解することができる。</li> <li>● 「何を～するか(知っている)」という言い方を使って将来の希望などについて伝えることができる。<b>発展</b></li> <li>● 登場人物の将来についての考え方を理解し、自分の考え方を振り返る。</li> </ul>
2 [1]	Skit Time At the Bus Stop	S+V+O+what など+to～.	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 行き方などを尋ねる場面のスキットを作って演じることができる。<b>発展</b></li> </ul>	
11	1	Language Focus 2	名詞を 修飾する節	
	7 [5]	Unit 6 At Christmas 「今年のクリスマスは、ジェニーに全部任せよう。」ということで、ヒロの家族はアメリカ風のクリスマスを楽しむことになった。	後置修飾(現在分詞, 過去分詞) S+V+O+C(名詞)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 後置修飾を使って人やものをくわしく説明することができる。</li> <li>● 「～を…とよぶ」という言い方を使って情報を伝え合うことができる。</li> <li>● 日本語と英語の単語の違いに気づくことができる。</li> <li>● 日本とアメリカのクリスマスの違いを理解する。</li> </ul>
	1	Special Program 2 RECIPE Chocolate Brownies		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケーキなどの作り方の順番を理解することができる。</li> <li>● レシピの文体を理解する。</li> </ul>
	1	Skit Time What's Wrong?	had better～	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 体の具合について話す場面のスキットを作って演じることができる。</li> </ul>
	2 [1]	Language Focus 3	名詞を修飾するときの語順	
12	5	Challenge! 3 Let's Have a Debate		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 違う立場の意見を理解したうえで、話し合うことができる。</li> <li>● 立論や反論をするときの形式を理解することができる。</li> </ul>

移行措置	追加する単語
<p>配当時間を4時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 最近したことに関する感想や意見を述べたスピーチを聞いて、概要や要点を聞き取る。【Listen More Corner スピーチ・わたしの経験】</li> <li>● ユニバーサルデザインに関する文章を読んで、内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。 【Read More Corner “The Tsukuba Express”】</li> <li>● 接触節や関係代名詞 that を使う文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 3年 Unit 4】</li> <li>● CT の Thinking Drill から発展して、日本文化を紹介する Show and Tell を行う。【Write More Corner 「日本文化紹介」】</li> <li>● 関係代名詞 that を使って表現する活動を行う。 【Activity 「フルーツバスケットゲーム」】</li> </ul>	<p>【The Tsukuba Express】 service speed passenger ticket gate type print</p>
<p>選択的な扱いの教材に1時間を充て、MOTHER GOOSE の歌を読む。歌の中にある右の単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>lay kill</p>
<p>配当時間を3時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 将来の夢の話聞いて、概要や要点を聞き取る。 【Listen More Corner 「将来の夢は？」】</li> <li>● 関係代名詞 which, who を使う文や間接疑問文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 3年 Unit 5】</li> <li>● 将来の希望と関連して、自分の得意なことなどを自己 PR カードに書く。 【Write More Corner 「英文自己 PR カード」】</li> <li>● 関係代名詞 which を使って表現する活動を行う。 【Activity 「借り物・借りに競争ゲーム」】</li> <li>● CT の「発展」で間接疑問文を使って表現する活動を行う。</li> </ul>	
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教科書の「発展」を行い、Options にある右の単語を覚えて使えるようにする。</li> <li>● これまで学習した言語の使用場面（買い物・道案内）に応じた表現を総合的に使ってロールプレイゲームをする。【Spiral Corner 「街に出かけよう」】</li> </ul>	<p>【Options】 city hall museum</p>
<p>配当時間を2時間増やして次の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アメリカのクリスマスの様子を説明した文章を読んで内容を正しく理解する。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。 【Read More Corner “Christmas — America’s Favorite Holiday”】</li> <li>● 後置修飾を使う文や「～を…とよぶ」という言い方の文を正しく書けるように練習する。【Practice Corner 3年 Unit 6】</li> </ul>	<p>【Christmas — America’s Favorite Holiday】 holiday wrap crowded hide itself</p>
<p>選択的な扱いの教材に1時間を充て、チョコレートブラウニーのレシピを読む。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>butter sugar chocolate oil melt stir beat add pour bake frequently softly</p>
<p>教科書の Options にある右の単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>【Options】 fever stomachache sick doctor lie health</p>
<p>配当時間を1時間増やして、これまでに学習した後置修飾の用法を復習する。【Spiral Corner 「海賊スゴロク」】</p>	
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、ディベートを行う。さらに2時間を充てて意見文を書く活動に発展させる。【Write More Corner 「意見文」】</p>	<p>grade however action</p>

月	時数	単元・教材	主な言語材料など	到達目標
12	7 [6]	Unit 7 Saying Goodbye to Jenny いよいよジェニーがアメリカへ帰国する日がやってきた。みんなは心のこもった別れの挨拶をジェニーに贈る。	S+V+O+C (形容詞)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校生活で自分をうれしく(あるいは悲しく)させたことを思い出して、友達と会話をしたり文章を書いたりすることができる。</li> <li>● ヒロとジェニーの別れの場面を読んで、人物の心情を理解する。</li> </ul>
1	5	Challenge! 4 My Report		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校生活でいちばん心に残っていることについて書くことができる。</li> </ul>
	(1)	Special Program 3 MUSIC Blowin' in the Wind True Colors		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歌のメッセージや歌が作られた背景を理解することができる。</li> </ul>
2	6	Special Program 4 The Home Planet 宇宙での体験から宇宙飛行士たちはどんな思いを抱いたのだろうか。「母なる地球」に寄せる感動のメッセージ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4人の宇宙飛行士たちがどのような感想をもったのか、理解することができる。</li> <li>● 飛行士たちの言葉を読んで、それについて自分の感想を伝えることができる。</li> </ul>
	(1)	Special Program 5 MUSIC From a Distance		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歌のメッセージと歌が作られた背景を理解することができる。</li> </ul>
	6	Further Reading Changing the World 1992年の環境サミットで、カナダ人の少女が行った伝説のスピーチ。迫力あるメッセージが感動をよぶ。		<ul style="list-style-type: none"> <li>● スピーチを読んでメッセージを読み取ることができる。</li> <li>● 危機に直面している自然環境や、絶滅に向かっている生物たちを保護するために自分たちができることを考える。</li> </ul>

移行措置	追加する単語
<p>配当時間を1時間増やして次の活動を行う。</p> <p>● S+V+O+C (形容詞) の文を正しく書けるように練習する。 【Practice Corner 3年 Unit 7】</p>	
<p>選択的な扱いの教材に3時間を充て、中学校生活の思い出を書く。さらに2時間を充て、卒業後の自分について文章を書く。 【Write More Corner 「中学卒業後のわたし」】</p>	<p>fifteenth sang stage stood hug announce</p>
<p>選択的な教材に6時間を充てる。The Home Planet を読み、内容を理解して自分の好きな言葉を見つける。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>elevator might prison power tear gently myself farther ship silence million bright sunlight save fourth continent fifth woke space everywhere planet</p>
<p>発展的な教材に6時間を充てる。Changing the World を読み、内容を理解して感想や意見を述べる。文章中にある右の単語を覚えて使えるようにする。</p>	<p>plant wild act neither fix forest somebody part fact fear waste throw plenty list spend spent wish rich born respect attend</p>

# 移行措置で新しく学習する単語

平成20年10月発行「中学校英語科教授用資料」

<b>A</b>	<b>C</b>	<b>E</b>	gold	lay	oil	<b>S</b>	<b>T</b>
abroad	camera	east	grade	leaf	orange	sang	taught
act	cap	eaten	grass	leg	own	save	tear
action	carry	effort	green	lend	<b>P</b>	scientist	telephone
add	CD player	elevator	grew	lent	paint	sell	tennis
advice	center	end	<b>H</b>	lie	pardon	September	theater
afraid	chair	energy	hair	list	parent	service	throw
agree	chocolate	enter	happiness	lose	part	share	ticket
animal	choose	especially	hat	lost	party	ship	truck
announce	chopsticks	everywhere	health	low	passenger	shock	true
April	church	exchange	healthy	<b>M</b>	pig	shoes	type
arm	city hall	<b>F</b>	heat	machine	planet	short	<b>U</b>
art	clever	fact	heavy	manner	plant	shoulder	uncle
athlete	climb	farther	hide	map	plenty	shower	unhappy
attend	clock	fear	holiday	March	position	sick	<b>V</b>
attention	clothes	felt	horse	meat	potato	silence	village
August	club	fever	hospital	melt	pour	simple	voice
aunt	coat	fifteenth	however	might	power	slow	volleyball
<b>B</b>	collect	fifth	hug	million	pretty	smile	<b>W</b>
bake	comic	final	husband	mind	print	snowy	wait
band	communicate	finger	<b>I</b>	mistake	prison	softly	waste
beat	continent	fix	impossible	money	professional	sold	west
believe	cousin	fog	ink	museum	<b>R</b>	somebody	white
bell	crowded	forest	inside	myself	raise	someday	wide
body	cup	forgot	introduce	<b>N</b>	ran	south	wife
born	custom	fork	itself	nature	reach	space	wild
bought	cut	fourth	<b>J</b>	nearly	read (過去形)	speed	wind
box	<b>D</b>	fox	July	necessary	realize	spend	window
bread	daughter	free	jump	neighborhood	reason	spent	windy
break	dead	frequently	June	neither	red	stage	wish
bright	decorate	friendly	<b>K</b>	net	reduce	stir	woke
broken	delicious	<b>G</b>	kill	north	respect	stomachache	wrap
brown	difference	gate	knee	notebook	rich	stood	wrote
building	doctor	gently	knife	notice	ridden	subject	<b>Y</b>
built	drop	given	<b>L</b>	<b>O</b>	ride	sugar	yellow
butter	dry	glasses	lake	October	ruler	sunlight	